

労使研

「情報」第59号 2020年9月

労使関係研究協会
〒105-0014東京都港区芝2丁目
20番12号（友愛会館8階）
電話：03-3453-5386
FAX：03-3451-1710
関西支局
〒550-0001大阪市西区土佐堀
1丁目6番3号
（JAM西日本会館内）
電話：06-6225-2881

友愛労働歴史館の活動

1. 展示会・講演会活動について

友愛労働歴史館は主な活動の一つとして展示会（常設展・企画展）活動と、これに連動した講演会活動に取り組んでいる。しかし、2020年春の新型コロナウイルスへの対応のため友愛労働歴史館は、3月30日（月）から5月6日（水）の間、臨時休館を行った。

①展示会（常設展・企画展）活動

展示会活動として常設展と企画展（年2回）を開催している。しかし、新型コロナウイルスへの対応のため3月30日（月）から5月6日（水）の間、臨時休館したため展示会活動も制約を受けた。

常設展「日本労働運動の100年余—友愛会・総同盟（戦前）を中心とする」は、2012年8月1日のオープン以来、原則同一内容で開催している。しかし、2020年は新型コロナウイルスのため3月30日（月）から5月6日（水）の間が休館となった。

2020年上期の企画展として日本のメーデー100年を記念し、企画展「日本のメーデー100年—自由と団結の旗のもと—」（2020.1.6～6.30）を開催した。しかし、新型コロナウイルスのため2020.3.30～5.6の間、臨時休館を行った。このため展示会は1月6日（月）～3月27日（金）、5月7日（木）から6月30日（火）の間の開催となった。

また、2020年下期の企画展として総同盟解散・総評結成70年を記念し、企画展「総同盟・産別会議から新産別・総評へ—1946～1950年の労働運動—」（2020.7.6～12.8）を開催している。

<友愛労働歴史館企画展>

☆「メーデー100年」展

と き：2020年1月6日（月）～2020年6月30日（火）

と ころ：友愛労働歴史館展示室

テーマ：「日本のメーデー100年—自由と団結の旗のもと—」

内 容：第1部「メーデー前史（なぜMAY DAY?—1886.5.1～1920.5.1）」

第2部「戦前のメーデー 非合法下で団結—1920.5.1～1936.5.1」

第3部「戦後のメーデー その変遷をたどる—1946.5.1～」

その他：新型コロナウイルスへの対応のため3月30日（月）～5月6日（水）休館

☆「総同盟・総評」展

と き：2020年7月6日（月）～2020年12月8日（火）

と ころ：友愛労働歴史館展示室

テーマ：「総同盟・産別会議から新産別・総評へ—1946～1950年の労働運動—」

内 容：第1部「戦後労働運動と総同盟・産別会議の結成—1946年8月」

第2部「産別会議民主化運動と総同盟の動き—1947～1950年—」

第3部「新産別・総評の結成と国際労働運動—1946～1950年—」

②講演会活動

例年、企画展と連動させた講演会・労働講座を労使関係研究協会や友愛会創立を記念する会と共催もしくは単独で開催しているが、2020年は新型コロナウイルスのため何れも中止した。



2. 資料の収集・管理作業、調査・研究活動について

友愛労働歴史館は、年間を通して資料の収集を行っている。また、必要な調査・研究活動に取り組んでいる。

①資料の収集・管理

2020年6月に友愛労働歴史館研究員・梅澤昇平氏（尚美学園大学名誉教授）から政治・社会運動関連資料の寄贈を受けた。また、同月、寺井融氏（ジャーナリスト、大学講師）から政党関連資料の寄贈を受けた。

②調査・研究活動

友愛労働歴史館は、常設委員会として「ユニテリアンと社会運動研究会」、「政治・社会運動史研究会」の二つの常設委員会を設置し、調査・研究活動を行っている。5月に第22回政治・社会運動史研究会を予定していたが、新型コロナウイルス対応のため延期した。なお、研究活動の一環で井堀繁雄研究会を設置し、井堀繁雄日記のデジタル化作業に取り組んでいる。

☆「第22回政治・社会運動史研究会」

名称：「蠟山政道」（共通テーマ）

とき：2020年5月15日（金）15：00～16：30

講師：梅澤 昇平 友愛労働歴史館研究員・尚美学園大学名誉教授

その他：新型コロナウイルス対応のため延期した

☆井堀繁雄研究会

梅澤昇平研究員の協力を得て、井堀繁雄（労働運動家・協同組合運動家・政治家、日本労働会館理事長）が残した日記のデジタル化作業に取り組んでいる。

3. 情報発信・PR活動について

友愛労働歴史館はインターネットを利用したメールレポート「友愛労働歴史館たより」の発信、ホームページでの情報提供・PRなどに取り組んでいる。また、研究者・学生らへの相談対応、資料提供などに取り組んでいる。

①メールレポート「友愛労働歴史館たより」の発信

8月19日にメールレポート「友愛労働歴史館たより」第158号を発信した。また、Eメールを活用し、必要な情報をメールアドレス登録者に随時、発信している。2020年8月末現在のメールアドレス登録者は約1200名である。

友愛労働歴史館Eメールアドレス yuairodorekishikan@rodokaikan.org

②友愛労働歴史館ホームページの開設

友愛労働歴史館は情報提供用にホームページ<http://www.yuairodorekishikan.com> を開設しており、随時更新している。

③ 友愛労働歴史館・公式ツイッター (@yuaireshiki1912)、その他による発信

友愛労働歴史館担当者による公式ツイッター（@yuaireshiki1912）で、情報発信を行っている。その他、当館常設展チラシ、企画展チラシ、その他を活用し、紙媒体でのPR活動を行っている。また、希望者へ当館紹介用スライド「ようこそ友愛労働歴史館へ」、企画展解説スライド「総同盟・産別会議から新産別・総評へー1946～1950年の労働運動ー」、常設展解説スライド「日本労働運動の100年余」などのデジタル情報を提供している。

コンドルマップを作りました

唯一館を設計したジョサイア・コンドルの没後100年（1920年）を機に、友愛労働歴史館では、都内に現存するコンドル建築を記した「コンドルマップ」を作成しました。コンドル建築めぐりなど、マップの利用を希望される方は友愛労働歴史館までご連絡ください。



友愛労働歴史館webページ



友愛労働歴史館公式twitter

労使関係研究協会の活動

1. 労働講座、講演会の開催延期

今年に入り新型コロナウイルスの感染拡大の影響により、労使関係研究協会（労使研）の各種事業は一時中断の状態に陥っています。

2020年3月2日に安倍首相から突然小中高校に対する臨時休校要請が出され、以降新型コロナウイルスの感染拡大が顕著となってきました。4月に予定していた労働講座と講演会も、講師の応諾を得て、6月以降開催としました。

その後、4月7日に政府から緊急事態宣言、5月25日には解除宣言が出されましたが、7月以降、再び感染者数が急拡大し、二次感染と考えられる状況となりました。そのため労働講座と講演会は秋に入っても開催の目処が立たない状況です。

2. 今後の労使関係研究協会の活動について

労使研の事業の軸であった労働講座、講演会は、今までのように人を集めて開催することが困難となっています。各団体とも人の接触のないリモート開催や、広い場所を使って人と人の距離を保った講演会など検討を進めています。

労使研も参加者を募る講演会などはそういう方向での開催に切り替えていかなければならないと考えています。また少人数による研究会活動なども検討を始めています。社会が大きく変わっていく中で、労働問題や労使関係も様変わりになっています。労使研の活動も変化が求められています。

<友愛会創立を記念する会について>

1. 友愛会創立を記念する会の開催中止

（開催中止の案内状発出～中止に至る経過とお詫び）

拝啓 向暑の候 皆様におかれましてはますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、私たち「友愛会創立を記念する会」は、わが国近代的労働運動の源流である「友愛会(鈴木文治初代会長)」創立(大正元年8月1日)を記念し、毎年8月1日に標記記念する会を開催してまいりました。

しかしながら本年は新型コロナウイルスの影響により、開催を中止することといたしました。大変残念ではありますが、この辺の事情を斟酌いただき、ご理解を賜りたいと存じます。

来年以降、関係者の親睦と民主的労働運動の発展を祈念する「友愛会創立を記念する会」の開催に向けて努力してまいりますので、ご案内申し上げます。

<中止判断の理由>

昨年末から「友愛会創立を記念する会」では、創立108周年記念事業の開催に向けて通常通り、準備を進めてきました。しかし2月以降の新型コロナウイルスの感染拡大が、4月7日の緊急事態宣言発出に至り、一時準備作業を中断させました。

緊急事態宣言が5月25日に解除されて、開催に向けて準備を再開いたしました。パーティーを自粛し、研修中心に運営するなど、検討を進めてまいりました。

しかし新型コロナウイルスの影響は残り、東京では6月下旬から再び、50人以上、最近では100人、200人以上の新規感染者を記録することとなりました。こういう状況下、皆様にお集まりいただくことが危険と判断いたし、今年の「友愛会創立を記念する会」は中止することといたしました。8月1日当日は事務局中心の、ささやかな集いにとどめたいと思います。

2. 高木会長メッセージ

本年も8月1日に友愛会創立を記念する会の記念式典及びパーティーを開催すべく、幹事会の皆さんに準備を進めて頂いて居りましたが、新型コロナウイルスの感染状況等に鑑み、中止という判断に至りました。どうぞ、中止に至りました背景等ご賢察賜りたく存じます。

本年、2020年は友愛会創立以来、108年目の年を迎えています。大正元年の創立以来、友愛会は労働組合主義、切磋琢磨の労使関係と労働協約の重要性に関する認識の労使共有、産業民主主義、労働者福祉の向上等を標榜しつつ、日本の労働運動の源流としての評価を得、今日の連合に至る日本の労働運動の歴史のページを刻んできました。

時移り、人変わろうとも、運動のルーツ、基本哲学等守り続けなければならないものは堅持し、新しい時代の流れに沿って変えていかなければならないものは勇を鼓して変えていく、この両面を踏まえ乍ら、日本の労働運動の不断の前進に思いを至す契機とするため、友愛会創立を記念する会の活動を続けているということだと存じて居ります。

残念乍ら、本年の記念式典等は中止いたしますが、友愛会創立を記念する会の運動の本旨は今後とも堅持していくことをお誓いし、併せて新型コロナウイルス禍の収束のためのワクチンの早期開発を待望し、皆様の組織と仲間の皆様のご健闘をお祈り申し上げ、2020年式典中止等に当たってのメッセージとさせていただきます。



◀ 昨年の記念パーティーであいさつする
高木会長

2020年8月1日

友愛会創立を記念する会 会長 高木 剛

3. 事務局による8月1日の集い

事務局中心に8月1日（土）12時過ぎに集合、ささやかな集いを開きました。

徳田友愛労働歴史館館長の挨拶で始まり、昨年から物故された方々へ黙とうを捧げ、高木剛会長のメッセージを読み上げました。最後に間宮友愛労働歴史館事務局長から、現在開かれている企画展「総評結成70年～総同盟・産別会議から新産別・総評へ」の説明を受け、研修しました。参加者9人。

※2019年8月から2020年8月の間に物故された方々（敬称略）

北風良雄 ボッシュ(株)、日本労働会館理事

芳賀清明 電力総連副事務局長、友愛労働歴史館研究員

一木香告樹 同盟副書記長

細川英香 紙パ連合委員長

榎本純 同盟調査局、連合生活福祉局長

※事務局に連絡のあった方のみです。



物故者に黙とうを捧げる。（2020年8月1日、友愛労働歴史館研修室で）